

ゆのまえ 議会だより



No. 27
令和元年
8月15日発行

「住民に見える議会」
「住民が参加しやすい議会」
「議会力・議員力の向上」を実現する

湯前町町民憲章が町づくりの理念

湯前町町民憲章

わたしたちは、湯前町民であることに誇りを持ち豊かで明るく、住みよい町にするために町民憲章をここに定めます。

一健康で、心豊かな

まちをつくりましょう

一平和、勤勉、明朗な

まちをつくりましょう

一自然を、人を、郷土を愛する

まちをつくりましょう

一活力があり、未来がある

まちをつくりましょう

一先人に学び、文化を継承する

まちをつくりましょう

昭和六十二年四月一日制定

町花「つつじ」



町木「ひのき」



町鳥「めじろ」



P2 特集 1

長谷新町長の所信表明

P4 特集 2

中村新教育長を任命

P5 本会議

令和最初の定例会

P8 一般質問

長谷町長へ初めての一般質問

P14 委員会

P16 全員協議会

P18 研修

P19 一部事務組合

P20 住民の声

今号の写真

町制施行50周年の昭和62年4月1日に、湯前町町民憲章が制定されました。これを制定した豊永町長の時代から32年が経過し、長谷町長が再び町づくりの理念として町民憲章を掲げました。

町民憲章の「まち」を「ひと」に変換すると分かりやすいかもしれません。原点は「人づくり」です。

特集 1

長谷新町長の 所信表明

未来創造の施策を実行



録画中継

基本方針

町民憲章が基本姿勢と将来像

キャッチフレーズを「心豊かで、活力があり、未来を創造するまちづくり」を掲げ、各政策方針に基づき施策を実行します

1期4年間は「修復」の時

◎経年劣化対策、耐震対策が必要な公
共施設の長寿命化を図り、防災・減
災の強化対策に取り組みます。
◎議会との緊張関係を保ち、これまで
以上に施策の構築をめぐる連携強化
を行います。

現場第一主義

町民の皆様との会話を通して政策への
アドバイスを頂き、職員と業務内容
を協議しながら政策を展開します。

5つの柱

柱① 未来を託す子どもたちが輝くま
ちづくり

教育

▼学校教育の充実に努め、引き続き、
地域と学校をつなぐ施策を実施しま
す。

▼未来を担う子どもたちに充実した教
育活動が展開できるような教育環境づ
くりを努めます。

▼新しい学習指導要領が令和2年度か
ら小学校を皮切りにスタートします。
スジェジュールに従って着実に学習が可
能となるよう、教育内容や時間の適切
な配分、必要な物的・人的体制の確保
など、教育委員会と十分に協議しなが
ら推し進めます。

子育て支援

子育て世代の経済的負担
の軽減を図るため、子ども医療費助成
の対象年齢の拡大、出生祝い金の創設、
小学校、中学校の給食費の一部軽減な
どに取り組みます。

柱② 安全・安心に暮らすことができ
るまちづくり

道路

真に望まれている生活道路の改
良舗装、通学時における交通安全施設
の整備を進めます。道路構造物は、経

年劣化や疲労などに伴う損傷が利用者
や第三者の被害につながることはない
よう、修繕や更新を着実に進め、イン
フラの施設機能の維持と適正化を図り
ます。

公共施設

公共施設の長寿命化対策
(老朽・耐震)を行います。

住宅

▼公営住宅等長寿命化計画を基本に、
現有の公営・町営住宅の長寿命化、建
て替えの必要性を検討します。

▼個人所有の老朽木造住宅の耐震対策
に関する普及啓発に取り組み、耐震診
断などの実施を促進するため引き続き
支援します。

空き家

対象物件の所有者に対して適
正管理の啓発と指導を行います。

上下水道

老朽化施設の更新、維持管
理に努め、接続率の向上に努めます。
経営状況の適切な把握による事業運営
を行い、継続的に適正な維持管理によ
り、安心と暮らしやすさを実感できる
よう取り組みます。

高齢者

▼「シニアの社会参加促進」と連携した
取り組みで、高齢者の就業支援など、
社会参加の促進を図ることで、多くの
高齢者が健康で、仕事や地域活動の役
割を担いつつ活躍できる取り組みの充



町民憲章の掲示板はココ

実を図ります。

▼元気で安心して暮らし続けられるよう、医療・介護・予防の連携を図り、創意工夫により柔軟なサービスを提供できるよう検討します。

▼交通手段を持たない方の買い物支援を検討します。

▼地域の事情に応じた暮らしの課題解決にすばやく対応するため、行政区ごとに職員を配置します。行政区の自主的な地域づくりの発展に寄与し、職員自身の使命と責任を深く受け止め、積極的に地域に向くことで、役場と町民の皆様の距離が近くなつたと感じていただけるよう努めます。

公立多良木病院 地域における基幹的な公的医療機関として、地域医療の確保のため、重要な役割を果たしてきました。しかし、その経営は、へき地医療、不採算医療の提供、医師不足などにより、極めて厳しい状況にあります。公立多良木病院の役割の明確化、経営の効率化、良質な医療確保は、待ったなしの対応策を講じる必要があります。中長期で医療体制の充実と医師の確保を図るため、構成町村長と十分な協議を重ね、地域医療の確保に取り組みます。



町長谷田長博の表明所信

防災

消防団員および自主防災組織の教育・訓練を進め、上球磨消防署との連携強化を図りながら、地域住民と一体となり「自助・共助・公助」の確立に努めます。

柱③ 基幹産業である農林商工業の持続的な発展

農業

▼付加価値を付けた商品化の支援などを含む幅広い農業振興策を検討します。

▼担い手への農地の集積・集約化を進めるため、老朽化対策が完了していない地域を中心に、農業用排水路の改修と排水不良など水田の基盤整備を推進します。

▼農地の保全・有効利用を推進し、農業を「稼げる」職業にするため、町独自の支援制度の拡充となる施策を検討し、生産性の向上を図ります。

▼中山間地域等直接支払交付金事業、多面的機能支払交付金事業、湯前版中山間地域直接支払交付金事業などの制度を継続します。地域住民が一体となり、景観形成、農村環境に配慮した農地の保全管理に取り組み、耕作放棄の防止に努め、農地の有効利用を図ります。

▼有害鳥獣対策を引き続き実施します。

▼農業後継者の確保と育成、営農組織を育成するため、町独自の補助事業の制度を拡充します。関係機関と連携して、技術・知識に関する研修や自主的な活動に対する支援を行い、中核担い手農家を育成し、既存の農業者および後継者にとどまらず、新規参入者や営農組織の支援も念頭に置き、担い手確保の施策を推進します。

▼農地の流動化を推進しながら、生産規模の拡大や作業の機械化、生産設備の導入や更新を支援します。補助事業への取り組みや既存の町独自の支援制度の拡充などを検討し、本町の農業におけるAIなどの最新技術を活用する

スマート農業の可能性や、実証実験などを調査・検討します。

▼消費者目線に立った魅力ある農業として、農産物に付加価値を付けるため、農商工連携による加工品の開発と生産振興、販売ルートの開拓、終着駅の駅構想を創造し、調査研究を行います。

農業公社 初心に返り、農地を農地として次世代に受け継ぐことを理念に置き、その経営の在り方は十分に時間をかけ、道筋を確立させ、新たな施策を展開します。

林業

▼若者が林業に興味を持ち、魅力を感じてもらえる職業として、林業事業者や林業従事者の確保につながる施策を検討し実施します。

▼林業事業者が川上・川中・川下でネットワークを構築し、球磨産材の普及・販売に関して、林業成長産業化地域創出モデル事業などを活用した取り組みを支援します。湯前産のスギ・ヒノキのブランド化を図り、湯前産材の普及・拡大を地域の林業事業者と進めます。

▼町有林の整備方針は、「湯前町有林管理計画」に基づきます。成熟した森林資源の更新を図るため、年間5〜10haの主伐を計画し、主伐の搬出にコストが掛かり、経済林として回すことが

困難な森林は、強度の間伐を行い、間伐後には広葉樹を植栽するなどの天然林化を図ります。

▼土砂流出防止や水源涵養(かんよう)など、森林の有する公益的な機能が十分に発揮できるよう、林業事業者が行う私有林の施業・経営の集約化活動を支援します。

▼本年度から交付される森林環境譲与税を有効に活用し、適正な森林管理、林業振興に役立てます。

▼引き続き、企業と協働の森づくりであるJTの森づくり活動、くれないの森づくり活動との連携を推進します。

柱④ 地域資源を活用したまちづくり

観光

▼文化財の適正な保存と継承を行い、観光資源として有効活用を図ります。

▼昨年度に設立された人吉球磨観光地域づくり協議会との連携を強化しながら、文化財の価値を内外に向け積極的にPRし、交流人口の拡大による地域経済活性化につなげます。

まんが美術館

▼これまでの取り組みを踏まえ、さらに地域経済活性化に貢献できるものへ深化するよう努めます。

▼同館が今後も町民に親しまれ、愛さ

れる施設となるよう努めます。

湯楽里周辺

▼今年度で大規模改修に着手し、受入環境を再整備しながら、B&G海洋センターほか周辺施設との連携を図り更なる誘客につなげます。

▼グリーンパレス一帯のすばらしさを、さらにPRして、町内事業者との連携を図ることで、地域経済への波及効果を促進します。

▼湯楽里周辺の良好な環境を生かし、インバウンドの集客はもとより、大学などの合宿をさらに誘致し、合宿で訪れている大学との連携強化を行い、新たな大会を新設することなども視野に入れて行動します。

地場産業

▼木材業、酒造業、農産加工業などの豊かな地域資源を活用し、地場産業の育成と異業種間の連携、新しい商品開発を推進します。

▼地場産業振興に大きく貢献するふるさと納税制度も引き続きPRを行います。

柱⑤ 未来につながる健全な財政運営

▼湯前町が持続し、発展しつづけるために、総合計画に掲げる施策、これから計画する事業は、財政の規律を守り

ながら優先順位を定め、経験、知識などを最大限に生かし、歳入歳出のバランスのとれた計画的かつ効率的な財政運営を図ります。

▼走りながら知恵を出し合い、総力戦で自治体力を高め、福祉の向上に努めます。

特集2

中村新教育長を任命

6月28日臨時会

▼3ヶ月間、空席になっていた教育長の任命同意が提案され、元あさぎり町教育長の中村富人氏(68)を全会一致で同意しました。

▼中村教育長は、人吉高校から熊本大学教育学部を卒業後、教諭として県内の小中学校に勤務。平成12年から相良南中学校校長、天草教育事務所所長などを経て、平成23年に人吉第一中学校校長として定年退職。平成26年8月から平成30年6月まであさぎり町の教育長を務めました。

▼臨時会では、質疑後に9議員の無記名投票を行い、賛成9、反対0の全回一致で同意しました。

▼中村教育長の任期は、7月1日から令和4年6月末までの3年間です。



経験豊かな中村新教育長

令和最初の定例会

長谷新町長の肉付け予算(第1弾)

令和最初の6月定例会は、10日から14日まで5日間の日程で開かれ、3人の一般質問の後、令和元年度の補正予算、条例改正などを審議しました。新年度予算は、鶴田町政の骨格予算・必要最小限度の経費を計上する予算に、長谷新町長の提案が肉付けされました。最終日には町長の所信表明に対して2人が一般質問を行いました。また、5月13日、6月28日、7月24日に臨時会を開催しました。

まんが美術館裏にヘリポート設置

指定緊急避難場所整備

23332万2000円

▼面積2400㎡の敷地に、アスファルト舗装、無停電式防犯灯、ヘリポートを設置します。

▼県の球磨川水系防災・減災ソフト対策等事業3分の2の補助を受け、残りは緊急防災・減災事業債で充当します。

▼平成30年度において、指定緊急避難場所整備用地として



ヘリポート・防火水槽の整備予定地(上里3)

購入した旧小川製材所跡地の隣接した一角に、他の方の所有の残地があり、その土地も購入して整備します。(宅地の㎡単価4324円)

町内3箇所に屋外分煙施設を設置

改正健康増進法

500万円

▼望まない受動喫煙を防止する目的の改正健康増進法により、7月から第一種対象施設である学校、児童福祉施設、病院、行政機関の庁舎など、屋内はもとより敷地内禁煙となりました。

▼屋外で受動喫煙を防止する



屋外喫煙場所の設置場所

目的で、特定屋外喫煙場所を設置できることから、今回、役場、改善センター、海洋センターの3箇所に設置します。

移住定住の促進

地方創生関連事業

◎子育てコミュニティカフェ運営委託料21万7000円

◎デジタル工作教室運営委託料25万2000円

◎まんが体験教室運営委託料82万4000円

◎町内見学ツアー運営委託料23万2000円

▼東京一極集中の是正、地方の担い手不足のため、東京23区在住者または通勤者で、熊本の中小企業などに就職し、

移住した者に対する移住支援金を支給します。支給額は1世帯100万円(単身60万円)です。

湯楽里のエアコン改修工事

経年劣化で39台

9500万円

▼湯楽里全館でエアコン39台を交換します。内訳は、パッケージエアコン30台、ルームエアコン3台、ビル用マルチエアコン6台と集中制御リモコンです。今回の工事で、20%ほどの節電効果を見込んでいます。

▼今回のエアコン改修における湯楽里と町の負担割合は、指定管理の協定(リスク分担)により、すべて町の負担となります。今後の施設改修も含め、負担割合を改めて検討するよう議会から提言しています。

野中田3区と上里3区に防火設備

防火水槽設置工事

1549万9000円

▼2箇所の設置を予定してい

ます。1つめは昨年度、指定緊急避難場所整備で購入した旧小川製材跡地に60トンものものを、2つめは野中田3区の中礼竹工場に隣接する町道に40トンを設置します。

まんが関連予算

優良事例の視察など

- ◎まんがを活用したまちづくり事業検討会外部有識者会議の謝金7万4000円
- ◎漫画活用の優良事例視察に要する旅費60万円
- ◎漫画フェスタ実行委員会への補助金629万9000円

ICT利活用関連

産業活用を検討

- 全国的なICT利活用事例、あるいは今後普及していくAIやIOTの分野で、産業全般への活用など、有識者の講演会などを計画します。
- ◎シニア向けパソコン・タブレット・スマホの相談事業を外部委託で運用を行うための経費64万4000円
- ◎ICT利活用協議会補助金29万9000円

教えて議会

参議院議員選挙費

- ▼7月に実施された参議院議員選挙に係る選挙管理委員などの報酬、期日前投票事務、当日の投開票事務に要する経費は、総額405万1000円の見込みです。
- ▼今回、投票用紙の交付ミスを防ぐための投票用紙自動交付機を2台購入しています。(9分の5の補助あり)

出生祝い金を創設

7月8日に本町初のお祝い金 300万円

町内に住所を有する出生児の養育者に対し、出生児1人につき15万円を支給します。今年度は20人分の予算です。今年の4月2日に遡って支払います。

プレミアム付商品券事業

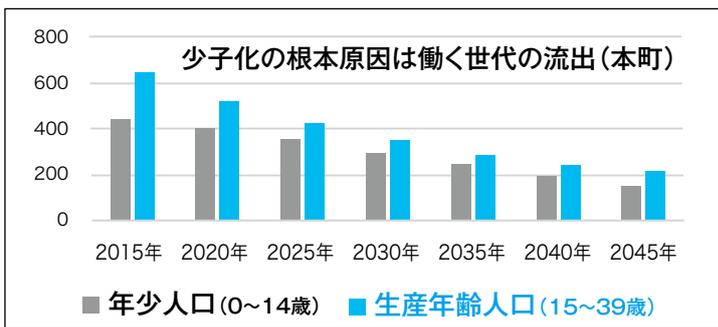
低所得者・子育て世帯の支援

- ▼10月に消費税率の引き上げが予定されています。プレミアム付商品券は、低所得者・子育て世帯の消費を喚起・下支えするために発行します。
- ▼購入対象者は、2019年度の住民税が課税されていない方、2016年4月2日から2019年9月30日までに生まれたお子様がいる世帯が対象です。
- ▼商品券は、2万5000円分を2万円で購入できます。
- ▼プレミアム付商品券を発行するにあたり、次の経費も必要になります。
- 販売事務委託料 154万1000円
- システム改修委託料 110万2000円

子ども医療費助成

高校生までの引き上げ 100万円

- ▼医療費無料化の対象範囲を中学3年生から高校3年生まで引き上げて拡充します。
- ▼管外の高校へ行っても住民票が湯前町にあれば対象となります。施行日は9月1日です。



※国立社会保障・人口問題研究所(平成30年3月推計)

幼児教育無償化

子ども子育て支援システム改修が必要 168万5000円

- ▼10月から幼児教育無償化の対象者拡充が予定されており、電算システムの改修が必要です。
- ▼幼稚園・保育所・認定こども園の3歳児から5歳児が無償化の対象です。ただし、通園送迎費、食材料費、行事費は対象外です。また0歳児から2歳児は、住民税非課税世帯が無償化の対象です。

植木地区用水路工事

3力年の事業予定 追加配分820万円

- ▼平成30年から3ヶ年の延長3.8kmの工事です。国県から今年度の工事費に追加配分がありました。
- ◎平成30年度 800m (実績563m)
- 1564万1000円
- ◎令和元年度 1500m+

今約300m
4420万1000円

◎令和2年度 1400m

4400万円

(国費55% 県14% 町21%
地元10%)

御大師堂保存修理 工事

設計業務委託料

499万9000円

来年度以降の工事を予定し
ています。

改善センター等 改修工事実施設計 業務委託料

町債の緊急防災・減災
事業債

699万9000円

▼避難所としても活用する同
施設は、建築後25年が経ち、
施設天井と空調照明設備の改
修を行います。

▼工事費の概算は次のとおり。

○天井工事6100万円

○空調照明工事7300万円

奥球磨みらいのもり 創造協議会

林業成長産業化地域創 出モデル事業補助金

625万円

木材生産の森林情報整備、
流通販売などの需要拡大、林
業労働者の安全対策などの事
業を予定しています。

○奥球磨みらいのもり創造協

議会運営費

○球磨スギヒノキPRに係る
経費

○林業従事者育成費(熊本林
業大学校が今年度から開
校。30数人の入校者のうち
本町からは1人)

○安全衛生対策費(安全装備
品として空調服を購入して
貸与)

人吉球磨観光地域 づくり

協議会負担金

146万2000円

事務局に、錦町・あさぎり
町・多良木町から役場職員が
各1人出向し業務にあたって
います。その人件費分を構成
9町村で負担します。(平成
30年度実績による均等負担)

夏休みにアニメ文化 の特別展

美術館特別展事業委託料

378万円

▼夏休みの特別展として、全
国的に名高い漫画家たちのア
ニメ文化を展示しています。

▼トキワ荘寄せ書きカーテン
とレトロおもちゃ漫画展、手
塚治虫、藤子不二雄、石ノ森
章太郎、赤塚不二雄。東京
都豊島区に2020年3月に
オープンし話題性があります。

B&Gプール修繕工事

秋から冬場で行う予定

210万円

▼海洋センタープール本体の
経年劣化におけるヒビ、表面
剥離などの修繕、照明のLED
D取替修繕など、財団の修繕
助成金の交付決定がありまし
た。その工事に要する詳細設
計を実施します。

▼実施設計が完了次第、次の
議会で、歳入の財団修繕助成
金と歳出の修繕工事費を補正
する予定です。

▼工事の実施時期は、秋から
冬にかけて行う予定です。



平成10年にオープンしたB&Gプール

議 案	遠坂 道太	椎葉 弘樹	森山 宏	黒木 龍次	味岡 恭	金子 光喜	高橋 一雄	黒木喜巳男	山下 力	倉本 豊	審議結果 (賛成：反対)
令和元年度(一般会計・特別会計)補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(9:0)
湯前町子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(9:0)
湯前町出生祝い金支給条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(9:0)
上記以外の議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(9:0)

○：賛成 —：採決なし(議長は採決に加わりません)

長谷町長へ初めての一般質問

議会録画中継を本格始動

6月定例会の会期初日に3人の議員が一般質問を行いました。長谷町長に対する初めての一般質問でした。また、町長の所信表明を受けての一般質問を椎葉議員と高橋議員の2議員が行いました。議会改革で取り組む『ビデオカメラ撮影によるYouTube(ユーチューブ)録画中継』は、6月から本格運用を開始しました。また平成30年9月定例会で湯前町議会規則を改正して本格導入した『関連質問』は、遠坂、椎葉、味岡、金子、高橋の5議員が行いました。

関連質問とは? 執行機関に対する監査機能、政策提案機能を果たすため、一般質問議員の質問後に、他の議員から質問を補足するもの。一般質問を議場でひとりぼっちにしない効果的な取り組み。これは全国的にも事例は少なく、人吉球磨管内では初めての取り組みです。

ページ	質問者(登壇順)	質問項目	通算 質問回数※
9	遠坂 道太	①基幹産業である農林業に関する町長のビジョン	10 (4)
10	椎葉 弘樹	①町づくりの基本方針	11 (4)
12	金子 光喜	①安全なまちづくり	11 (2)
以下、町長の所信表明を受けての一般質問			
12	椎葉 弘樹	①所信表明の政策で山積する課題をどう解決するか	上記参照
13	高橋 一雄	①町民憲章 ②子育て支援 ③福祉施策 ④独自財源	11 (3)
	黒木 龍次		0 (0)
	森山 宏		2 (1)
	味岡 恭		5 (4)
	黒木喜巳男		0 (1)
	山下 力		0 (2) (前議長)
	倉本 豊		2 (0) (議長)

※：数字は平成28年11月 新体制以降の一般質問回数(全11回)、括弧数字は平成30年9月以降の関連質問回数(全4回)

議会を
傍聴しませんか

議会傍聴は、受付で名前を書けば、どなたでも入場できます。議会傍聴により、執行部と議員の緊張感が高まり、質疑や答弁のレベル向上が期待できます。お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。



録画中継

遠坂 道太 議員

問 基幹作物の産地化は

答 米のブランド化が できないか

質問 本町の米をブランド化する考えはあるか。

町長 水稲栽培を強化すべきではないかという想い。食味関係や収量、併せて販売先も確立したところで、ブランド化ができないか、今探っている。

質問 町独自の作物の栽培基準を作成する考えはあるか。
町長 役場の職員では作成は

不可能なので、県関係機関に相談して作成することを前向きに考えたい。

質問 町独自の営農指導員を採用する考えはあるか。

町長 今までは一般行政職員の採用だったので、採用を考えるのであれば非常勤職員になるのではないかと。

問 畜産繁殖農家の 高齢化対策は

答 既存の制度 を充実

質問 畜産繁殖農家の60歳以上は。

課長 平成31年2月1日現在、繁殖農家は22戸で母牛牛牛を含めて500頭ほど。70歳以上の農家が11戸、母牛牛牛161頭。60歳代が5戸、287頭。50歳以下は49頭。

質問 繁殖農家の高齢化対策は。

町長 既存の制度をバージョンアップさせること。現状の課題、畜産農家の課題、糞尿などの環境問題も含めて、制度を充実させていきたい。

質問 郡全体での育成牧場を考えてみたらどうか。

町長 町単独ではなく、畜産農協とJAに参与してもらうのが一番いいのではないかと。

問 林業産業における バイオマスの 取り組みは

答 熱源利用による AI農業への 取り組み

質問 バイオマスに取り組み考えはあるのか。

町長 構想的には熱源の有効利用だと思ふ。消極的かもしれないが、バイオマスの発電事業者と一緒に、民間活力を利用して事業が展開できないかと想像している。

質問 熱源を利用したハウス栽培にAI農業の考えは。

町長 先ほどの所信表明の中で触れている。九州農政局で実証実験が行われている。最先端のAIを利用して新しい農業の確立ができないか、前向きに考えていきたい。

関連質問 椎葉弘樹議員

本町は今後、稲作中心の農作物を維持していくのか、施設園芸に力を入れていくのか。

町長 根本的には、水稲も麦

も伸ばしていきたい。施設園芸は、莫大な投資なので、施設を拡大したいという思いの方が出てこないか、無理な部分もあるので、並立させながら行っていきたい。

関連質問 椎葉弘樹議員
例えば施設園芸のイチゴやブドウ、畜産農家の肉のブランド化の構想はあるか。

町長 肉はJAや畜協などがある、人吉球磨でのブランド化をお願いしたい。水稲で可能であれば、湯前のブランド米が確立できないか。来年度、実証実験から始めて、面積を広げたらどうかと思っている。



行政視察した日田市バイオマス発電

問 まちづくり基本方針の改定は

答 総合計画や総合戦略の統合も含めて調整

質問 基本理念の本質は「人づくり」なのか。

町長 総括するならば、人づくりという風に言ったらいいかもしれない。

質問 「心豊かで活力があり、未来を創造するまちづくり」は、ミッション(使命)に該当

するものか。

町長 基本は町民憲章の言葉から採用した。心の豊かさの実現のために着実に施策の実行を図ることが、行政における公助、そして住民同士による協力のまちづくりが共助にあたり、活力ではないかということ、ミッションだと思っている。

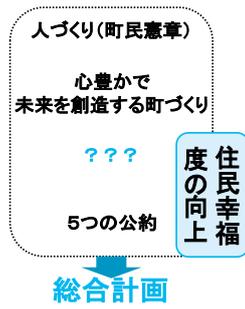
質問 現状の総合計画には政策ごとのビジョンがない。どのように策定するのか。

町長 5本のミッションを基本に政策を実現の方に向かって動かしていきたい。

質問 この理念、ミッション、ビジョンという3つの経営方針はどのような方法で住民と共有していくのか。

町長 総合計画において、町民の意識調査なども行っている。加えて、所信表明にも挙げたが、区長を通じて各地区

にある課題なども吸い上げながら、町政に反映する思いもある。行政区に職員を張り付けることも、検討しているが、町民の皆さま方のご意見も拝聴しながらまちづくりを進めたい。



【まちづくりの基本方針】

理念
ミッション(使命)
ビジョン
バリュー(行動規範)
戦略

質問 これまでの総合計画や総合戦略は、いつまでに総括や検証の結果を公表するのか。

町長 総合計画の施策の評価はこれまでやったことがないが、総合戦略は秋口ぐらいまでにはその結果をお知らせしたい。

質問 総合計画は来年の前倒しで町長の公約を盛り込んだ

形で作ることできないか。

課長 総合計画は、令和2年度に策定を行い、令和3年度からの執行となる。総合計画の策定は、町民アンケート調査や策定委員の会議、庁舎内部での検討などの段階が必要で、半年から9カ月の時間を要する。総合計画は、10年間ビジョンを踏まえた計画になるため、今年度中の策定は厳しい。

質問 総合戦略と総合計画を1つにする考えは。

課長 総合計画と総合戦略は、国の指示もあったが、同一のものとして策定してよいという国の見解は得ている。平成27年度の総合戦略を策定した際は、それが一緒にできないという見解だったので、途中で変わっている。

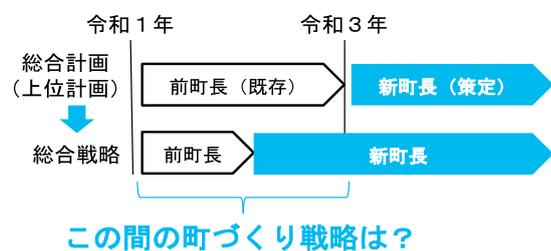
町長 総合戦略と総合計画を1つのものとして策定することは可能であるという部分もある。もう少し時間をいただき調整したい。

質問 現状の総合計画にある「活き活きと輝き誇れる町(前町長キャッチフレーズ)」の改定はしないのか。

町長 政策は総合計画に基づいた部分を強調するというところで、施策の部分は、詳しく内容が完備されていないので、今一度協議をさせていただき、回答させていただきたい。

質問 町民の幸福度アップに全力で努めると言われている。本町の住民幸福度は現在どういう状況か。

町長 町民が寄せているまちづくりの期待を、今回どう考えているか、町民の意識調査、総合計画の見直しによる調査をさせていただければと考えている。



この間のまちづくり戦略は？



録画中継

椎葉 弘樹 議員



問 安全なまちづくりの交通安全対策は

答 警察とも対策の協議を重ね展開



録画中継

金子 光喜 議員



国道388号と桜町通りの交差点付近

質問 国道388号と桜町通りの交差点では事故も起きていますが今後の対策は。

課長 多良木警察署に出向いて話をしてきたが、横断歩道などの設置には至らないという回答で、安全意識の強化などソフト面での対応をお願いされた。警察とも対策の協議を約束したので、今後の展開だと思う。

質問 子どもの登下校時の見守りなどは、少ないように感じるが十分できているのか。
課長 現状の見守りは、登校時にPTAの保護者の方で決まった日に行っている。それ

以外はボランティアで数人の方が登校時の見守りをしていただいております。下校時などの時間帯は散歩される方々に通学路を中心に歩いて頂けるよう呼びかけを社協にお願いしている。今後は公民分館の皆さんへの働きかけや、PTAの皆さんと協議検討を続けていきたい。夏休み前の地区座談会や通学路地区安全会議でも議論している。

質問 尖った硬い葉を持つ危険なアツバキミガヨランの対策について、現状の対応は。

課長 初めて聞く植物の名前で、自生箇所や危険性について確認した。さすがにこれは危ないと感じた。早速持ち主の方に剪定なり撤去ができないか相談した。今後調査をして適切な管理をしていただけるよう旬報などでも促していきたい。



本町に自生するアツバキミガヨラン

質問 平成21年ごろ、住宅用火災警報器を消防団が全戸に設置した経緯があるが、電池寿命が10年を迎えている。メンテナンスや対応はどう考えるか。

課長 当時の経済対策の交付金を使って、消防法の改正に合わせて町内全戸に2個ずつ配布した。追加は購入していただき、総数3300個を消防団に取り付けや配布をしていただいた。配布当時もメンテナンスや電池交換は各ご家庭での対応をお願いしていたと思う。まずは点検をお願いする情報を旬報などでお知らせして、どのような対応が町としてできるのか今後、新町長と検討したい。

町長 電池交換や消防団にお願いするなど、いづれにしても財源を要するので、検討し

て対応を考える。

関連質問 高橋議員 子どもの安全対策で、保育園児や保育士が犠牲になる事故が起きている。園外活動の調査や協議はされたのか。

課長 園外活動の中で、危険をできるだけ減らすためのルートを選択していくのは今後関係者と協議したい。

関連質問 椎葉議員 火災報知機の効果の検証や分析はされているのか。

課長 検証はやっていない。

関連質問 遠坂議員 登下校時の見守りに、青パトが使われていたが、現状はどうしているのか。

課長 公用車で回るときは見守りをしながら職員が巡回している認識でいたが、今後はなるべく青パトの回転灯をつけて回るように工夫したい。

問 山積する課題をどう解決するか

答 課題などを総合計画に取り込む

質問 若者向けの住宅政策、住宅建設や宅地分譲をどう進める考えか。

町長 計画は持っている。財政を見ながら建設することで検討したい。
質問 空き家の予防はどう進める考えか。

町長 まずは空き家にならない啓発に力を入れたい。所有者に対し、空き家になった後の様々な問題を伝えたい。

質問 町内所得の循環につながる商工業への投資拡充は。

町長 当然拡充をしたい。まずは商工会事業者の具体的なニーズ把握のため、商工会との意見交換を行いたい。

質問 中堅若手経営者の育成や支援を重点的に行う考えは。

町長 当然やる気のある農林商工業の皆様への投資は必要。

質問 湯楽里は、経営者の擁立を目指す考えは。

町長 当然民間事業者などの参入があれば、大変望ましい。

質問 ふるさと納税は商品開発やクラウドファンディングに力を入れる考えは。

町長 財源を確保するため、ふるさと納税制度は引き続き取り組んでいきたい。数多く

の自治体が大きく力を入れ始めているので、もう少し力を入れたい。

質問 ふるさと納税制度が終わった後の仕組み作りは。

町長 ふるさと会を含む関係人口の皆様に、意見を伺いながら、新たな展開、ご支援もお願いしたい。

質問 マンガのまちづくりを主要政策に位置づけるのか。

町長 主要政策の一つと考えている。今後、地域経済への波及効果も深化させたい。

質問 マンガのまちづくりはどう進めるのか。

町長 効果の検証が足りない部分もある。まんが美術館・まんが図書館などの相乗効果が必要。有効活用がなされない分野を研究したい。

質問 駅周辺の整備はどう進めるのか。

町長 レールウイング未使用部分も老朽化などの再開発が必要で、緑地帯の部分も必要。商工会からも意見を伺いながら、駅前周辺を更に魅力アップしたい。

質問 湯楽里と町内事業者との連携はどう進めるのか。

町長 商工会や農業団体の皆様とも話したい。湯楽里の物産販売所へ、今まで以上の

出店者を増やすことも必要。
質問 外国人や合宿の誘致の対応は。

町長 インバウンドは非常に魅力的。外国人観光客の受け入れは、外国語の対応が必要。合宿関係は、大学との連携を更に深め、大会などの開催も検討したい。

質問 バイクやキャンプ、アウトドア来客への対応は。

町長 受け入れ体制を整備する部分があるので、拡充しながら、更なる活用をお願いしたい。

質問 本町の観光政策の営業主体はどこが担うのか。

町長 民間主導が最適ではないか。意見交換も踏まえ、新たな展開、仕組みづくりが必要。

質問 今後の行財政改革は、PDCAの経過報告、計画の見直しを毎年度行う考えは。

町長 年度の終了後に、計画の精査、検証はしないといけない。

質問 補助事業の適性化はいつ行う考えか。

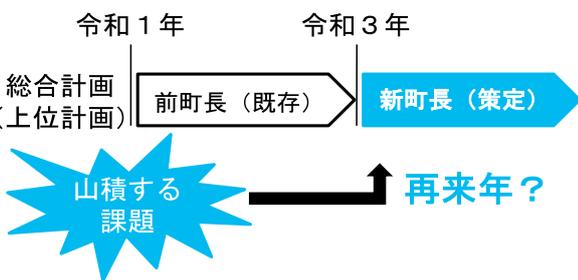
町長 補助金の見直しというガイドライン策定はまだ見えないので詳しく答弁できない。

質問 指定管理は自立を目指す考えは。

町長 各指定管理者と事業や運営の中身を各担当課で協議する。新たな仕組みづくり、指定管理料の削減、新たな事業への取組など、今後の検討になる。

質問 基本方針と戦略の見え化、町長の迅速な判断と決断を今後やっていただけませんか。

町長 議員の皆様にも思いを十分伝えながら、未来を創造する町を作り上げたい。研究、勉強しながら、課題や問題点を抽出し、総合計画・総合戦略に取り込みたい。



録画中継

椎葉 弘樹 議員



録画中継

高橋 一雄 議員

問 町民憲章を住民自治基本条例に格上げを

答 自治条例は考えていない

質問 「町民憲章」に新町長が光をあてられたが、実際には、長い間、ほこりをかぶっていたと思うが、執行部の考えは？

町長 町の総合計画などにも明記されており、今後のまちづくりの基本にした。

総務課長 これまで広く常時町民にお伝えしたということではなかった。町長が所信表明で町民憲章を基本にされているので、改めて町民に示していきたい。

教育課長 町民憲章を教育の場で施したということはない。

町長 町民憲章は、国でいう憲法に値すると考える。町政施行75年に庁舎東側に新しい看板で町民憲章を表示させていただいている。

質問 議会では、議会改革を「見える化」するために議会基本条例の策定を進めているが、執行部側も、町民憲章をさらに進めて、町民自治条例を作り、執行部・役場職員が全体の奉仕者であることを再確認し、町民と手をつなぎ協働のまちづくりを進めるということを明文化することが必要と考えるが。

町長 町民憲章を基にまちづくり

りに励んでいきたいので、自治条例は考えていない。

問 ふるさと納税に専任職員を

答 必要だが本町の魅力立案は難しい

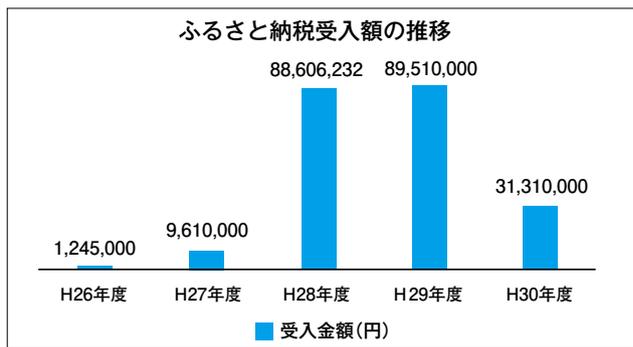
質問 貴重な自主財源としてふるさと納税が成果を上げたのは、職員が知恵を絞って努力したからだ。しかし現在は、他の仕事もしながら聞くが。

町長 ふるさと納税が大きく減額した要因の一つは、従事する職員体制もある。現在地域おこし協力隊員の募集もしている。専門的に専任の嘱託職員も必要だと思っている。

質問 今まで、ふるさと納税の取り組みは返礼品の商品開発が主だったが、これからは、本町を選んで寄附する動機を強くするために知恵を絞ることが必要では。

町長 例えば、熊本城再建と比べると、本町で魅力あるプ

ロジェクトを立案することは難しいと考える。



問 公約の給食費負担軽減は

答 担当課と協議中

質問 子供の医療費無料化の年齢引き上げと出産祝い金制

度が今議会で決まったことを歓迎する。周りの町村が給食費の無料化や支援をしているのに、本町では消極的だった。なぜ、給食費の負担軽減を公約にされたのか。

町長 選挙戦の中でそういう声があった。子どもは地域の宝であり、担当課と協議して、議会に示したい。

問 補助金見直しで福祉の低下が心配

答 敬老祝い金などはこれからの協議

質問 補助金見直しプロジェクト案は新町長が決断することだが、町長は、平成16年の財政再建計画を担った人であり、大変心配している。

町長 今年3月に行財政改革案が出ている。その中に敬老祝い金や障がい者福祉年金の廃止は出ていない。これから担当課と協議を始めるところ。

厚生文教常任委員会

5月9日／6月12日

委員長	椎葉弘樹
副委員長	高橋一雄
委員	金子光喜、森山宏、遠坂道太

次の所管事務を調査しました。

- ◎町のゴミの現状
- ◎子ども議会のマニュアル化
- ◎下里御大師堂周辺埋蔵文化財調査

町のゴミの現状

①生ゴミ処理

生ゴミをそのまま出すと水分も多く、焼却費用もかかるため、生ゴミの分解処理機の使用を勧めています。購入に7～8万円(実質4万円程度の負担)がかかるため、補助金の限度額を上げるかの検討が必要です。

②ゴミ袋

ゴミ袋の形状は、「結びにくい」「持ちにくい」という問題があったため、今年度から改善しています。

③地区のゴミ出し

- ▶他の収集場所に名前も書かずゴミ袋を置いていくことがありました。(特に国道沿い)
- ▶昨年、不燃ゴミにテレビやパソコンが入っていたという話は、1件ずつありました。

④住民や店舗の取組

下村地区の子ども会では、アルミ缶のみを選別して、業者が回収する取組をしているそうです。

⑤ゴミ放置

町内で、資材などを道路沿いに置いているご家庭があります。

⑥住民啓発

コンポストや分解処理機の効果や町の方針を示し、町民の協力を得ることが課題です。

⑦資源ゴミ

▶資源ゴミの中で一番大きく減ったのは、新聞紙と雑誌。資源ゴミ量は、あさぎり町に次いで2番目に多い153トンで、再生利用に対する住民の意識は高いです。

▶ゴミ量はここ数年横ばい。ゴミが減らない理由の一つに、インターネット購入時における段ボールやビニールの過剰包装があります。

⑧プラスチックの資源化

本町は資源化しているゴミの種類が少ないため、プラスチック類も資源化できるようにルール化の

検討が必要。

⑨クリーンプラザのゴミ処理費用

町民1人あたりの処理費用は、年間のゴミ処理に係る負担金と3月末現在の人口から算出しています。

下里御大師堂周辺埋蔵文化財調査

吉祥院跡の形跡は出ず

埋蔵文化財調査

御大師堂は、県の重要文化財に指定されているため、解体時に土台となる下の部分を調査する必要があります。



吉祥院跡の発掘現場

御大師堂の改修

- ▶本年度当初で500万円の設計業務委託料を計上。
- ▶工事スケジュールは、今年度に設計委託、来年度に解体から復元までの実施を予定。今後、県の文化課と調整して、具体のスケジュールを決めます。
- ▶城泉寺、八勝寺と同様に、復元後の御大師堂にも火気厳禁を表示します。
- ▶防火施設、防犯施設の工事も行います。防火壁や防火帯は、県との調整が必要です。

周辺(公園)整備

- ▶御大師堂の復元工事後に周辺整備を行います。
- ▶駐車場のアスファルト舗装や弓道場改修の方針は未定。まずは傷んでいる箇所の応急処置を行います。
- ▶御大師堂の休憩所の方針も未定。休憩所を解体する場合、プラスの工事費が必要になります。

経済建設常任委員会

4月18日・25日／6月13日／7月26日

委員長	遠坂道太
副委員長	黒木龍次
委員	山下力、味岡恭、椎葉弘樹

次の所管事務を調査しました。

◎家畜排泄物処理の現状(4回開催)

家畜排泄物処理を継続調査中 健全な畜産業の発展に努める

堆肥の野積みによる悪臭やハエの発生についての苦情があります。

家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律(家畜排せつ物法)

第3条第2項 畜産業を営む者は、管理基準に従い、家畜排せつ物を管理しなければならない。

現場調査

町内にある堆肥舎は5か所、平成14～16年度に補助率97%で建設されています。

- ◎下里有機堆肥生産組合(4人)
- ◎上里堆肥生産組合(3人)
- ◎浅鹿野堆肥生産組合(3人)
- ◎馬場堆肥生産組合(3人)
- ◎酪農堆肥組合(5人)

今後の指導

- ①畜産農家や堆肥生産組合へ堆肥の適正管理を指導
- ②堆肥の野積み調査を不定期に実施し、必要に応じて個別ヒアリング
- ③苦情や相談があった場合、対応結果を相談者に報告
- ④指導しても改善が見込めない場合、県からの指導

総務常任委員会

6月13日

委員長	森山宏
副委員長	黒木龍次
委員	黒木喜巳男、高橋一雄、味岡恭

次の所管事務を調査しました。

◎議会災害対応マニュアル(仮称)作成検討

湯前町議会災害対応指針(案)

議会改革調査特別委員会から総務常任委員会に本指針の策定を付託されました。大規模災害時における他の議会事例や、熊本地震、平成16年8月の豪雨災害の体験を踏まえ、議会对応の指針(案)を作成。詳細は次回委員会までに検討し報告予定です。

主な内容

- ◎議会は、大規模災害時に、湯前町災害対策本部が迅速かつ円滑に応急活動が実施できるよう、最大限の協力を行います。
- ◎湯前町議会災害対応連絡会議を設置し、状況の確認と所要の対応を行います。特に災害初動期には町当局が災害対応に専念できるようにします。
- ◎議員は、地域の一員として町民の安全確保と応急対応などにあたり、地域における「自助・共助」の取組が円滑に行われるよう努めます。
- ◎初動期は議会事務局へ自ら連絡します。
 - ①事務局職員の携帯
 - ②LINE(議会グループ)
 - ③FAX(役場代表FAX) ※役場代表電話回線には通話しない(災害対策本部最優先)

【大規模災害】

町内で震度6弱以上の地震が発生したとき
湯前町災害対策本部が設置されたとき

【災害初動期】

災害発生から概ね24時間が経過するまで。

員 会
協 議 会
5月13日、5月27日
6月11日

農業公社の方針

早く示すことが課題

【農林振興課】

▼公社の農地4・48haの維持管理で、1年間は自己保全管理として、草刈りなどをしていただく方を公募します。これまでの契約期間を3年から5年で設定しているため、その間は公社が管理しなければなりません。

▼今後の公社については、所信表明で町長の考えを述べられています。(3ページ参照)

マンガを活用したまちづくり事業

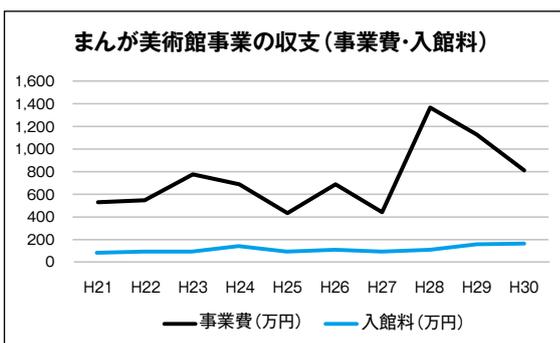
これまでの検証と課題

【企画観光課・教育課】

まんが美術館

▼入館者数の目標値は、周辺施設も併せて、1万人が目標。総合戦略の会議で前年度と比較検証して目標値を定めます。

▼美術館の運営に係る職員数は4人程で、企画展による窓口の対応、漫画家の先生との調整など結構な負担があります。



まんが図書館

▼平成25年度以降、利用者のほとんどが週末の利用です。

▼スペースの課題があります。今後は町内事業者の協力や活用を検討していきます。

漫画フェスタ

▼来場者数は、前年度の来場者や、天候、企画展その他で推定していますが、今後はアンケート調査などを行い、来場者数の把握に努めます。

▼現在の漫画フェスタは、地域経済活性化に資する町外からの取り込みを行う目的で、開催しています。目的が違ふところにあるため、その理解を町民に浸透させなければなりません。

まんが教室

▼まんが教室の目的は、移住定住。特色ある取り組みで、町の魅力向上を図ります。

▼この教室で町の見学ツアーを開催し、関東地方、熊本市から家族連れの参加もあり、リピーターもいます。最終的には住んでいただくことが大きな目標です。

町長の考え

▼漫画フェスタは、他の町村にない差別化されたイベント。これまで歩んできた認知度があるので、更に深化し新たな部分も講じながら、前に進むべきではないか。今の路線を引き続き延長させたい。マンネリ化しているところは改善したい。

▼まんが教室、小学校や中学校でのまんが授業は、湯前町の特色。十分に精査して、前向きに取り組んでいきたい。

▼町内の経済効果は、データが曖昧で、お金の換算が、難しい面がある。経済効果はあるだろうが、それが目に見えていない。

▼過去の作品が、完全に整理できていないので、今後は整理整頓して、年代ごとに展示するのも、まんが美術館の役割の一つ。前向きに検討する。

商工業者の支援策

経営動向調査

【企画観光課】

・町の商工業者に対する今後の支援策を検討するため、地域の現状把握と課題分析を目的に実態調査を実施。

①商工業経営者の経営動向調査

②若者就職支援事業の検討に係る調査

③求人情報誌からの分析(人吉球磨管内)

④地域課題解決に向けた着眼点

▼アンケート調査を行い、見えてきた課題に対する解決策ということで、国、県との補助事業マッチングを行い、一番費用対効果が見込めるものを、実施に向けて準備していきます。

▼今回あげているのは、人材育成期間をターゲットにしています。事業所は即戦力を求めています。

▼今、あさぎり町で、外国人を受け入れており、ベトナム人が多くなっています。イン

バウンドに向けた受け皿ができていません。

▼事業継承、高齢化、若者が定住できないなどの問題がある

ります。来年度の事業着手を想定して考えていきます。

湯前地区街なみ環境整備事業計画

今ある史跡周辺の改修を優先

【建設水道課】

▼街なみ環境整備事業は国土交通省所管の住環境整備事業。湯前町歴史的風致維持向上計画などに計上した事業を実施します。

▼平成30年度は、レールウイニングモニュメント改修、下里御大師堂埋蔵文化財調査を実施しました。また湯前地区街なみ環境整備事業計画を委託業務により策定しています。

▼城泉寺のトイレ状態では観光客を呼べないので、修理、あの状態で観光客は呼べないため、検討が必要。(トイレ改修は街なみ環境整備事業の交付金対象にならない)



障がい者未対応で和式の城泉寺トイレ

▼本事業計画にある桜町通りや里宮通りなど新たな景観整備よりも、今ある史跡周辺の改修を優先します。

▼今ある史跡周辺をどう結ぶのか、インバウンドに向けた計画が重要です。

水道事業の広域化 今年度で検討

【建設水道課】

▼人吉球磨地域水道事業における現状と広域連合などの手法の検討結果が示されました。

▼水道事業の収益は、赤字の町村が多く、湯前町と多良木町だけが黒字です。

▼赤字が増え続けると、財政がさらに厳しくなるため、重複する業務の効率化など、広域化の検討をしています。

▼他町村の接続率は、錦町が簡易水道で約80%、それ以外は100%に近い状況。

▼災害時の協定は今のところありません。災害時の協定を各市町村で結んだらどうかという検討はしています。

▼球磨地域協議会では、今年度に検討して、令和2年度から手を挙げた町村が実行していきます。(現時点では錦町のみ)

全国大会等出場奨励金の創設

これまでの全国大会出場補助金の見直し

【教育課】

▼湯前町全国大会等出場奨励金交付要綱(案)が提案され協議しました。

▼これまでの補助金は、対象者による事後申請で交通費と宿泊費の一部を助成していました。

▼今年度から、お祝い金として支給します。住民基本台帳に登録がある湯前町民が対象です。

私有林の作業道整備

森林環境譲与税

【農林振興課】

▼本町における森林環境譲与税の配分資産額は、2019年度289万7000円です

▼今年度は、私有林内の林道・作業道の現状確認と、必要に応じ補修を行います。

▼譲与税は、水上村1800万円、球磨村2000万円。人吉市より球磨村のほうが多く、錦町が郡内で一番低い270万円です。

▼森林環境税は、平成の初めごろから、町村会や議長会などで運動してきました。目的

が公益的機能を地方で維持管理をしていく、そのために交付税を要望する運動でした。町村会や議長会で議題にして、抵抗する要望書を出すべきでとの意見がありました。

▼基本的には私有林の作業道の整備に充てなければなりません。作業道も私有林に接続があれば町有林内でも整備することができません。

▼法令上用途を定めてあり、市町村が行う間伐や人材育成、担い手の確保、森林整備およびその促進に関する費用に充てなければなりません。

関西ふるさと会
会員数拡大が課題

6月8日



関西ふるさと会の皆様

ステーションビル・ホテル新大阪
▼会員数31人のうち23人が出席。ここ数年の会員数は横ばい傾向です。湯前町出身者のネットワークづくり(会員数の拡大・連携)が課題です。
▼当会の目的は、ふるさと湯前町の活性化に資すること。
▼役員はすべて留任で、任期は令和元年から2年間です。
▼本町からは、長谷町長、椎葉議員、岩野係長、滝上主事の4人が幹事会・総会・懇親会に出席しました。

3市町村

国道219号現地視察

7月に要望活動

5月16日/7月10日

▼湯前町、西米良村、西都市の議会議員で組織する「三市町村議会国道整備促進合同協議会」で、毎年度、国道219号の現地調査を実施しています。同協議会は昭和43年に設立し、国道の整備促進に関する要望活動も併せて実施しています。

▼国道219号は、熊本市から宮崎市に至る経済活動を支える大動脈として重要な幹線道路(約200km)です。宮崎県内区間77kmのうち約15kmが未整備で、そのうち西米良村区間が31km。改良率は平成30年度末で62%です。令和元年度の当初予算は19億8千万円です。
▼本町では、上里地区の歩道、約300メートルを整備中です。併せて国道と町道学校線を直角に接する工事も行います。サンロード側の精米機付近が整備の対象です。

町村議会常任委員長・議会運営委員長研修会

講師：早稲田大学マニフェスト

研究所事務局長・熊本市政策参与

中村健 氏

演題：「チーム議会のすすめ」

「議会への期待と責務」

①時代の变化を知る

▼多くの自治体は、基礎データに対する各施策の検証をしないまま、毎年お金をかけて同じことを繰り返しています。

②災害時の議会の役割

▼2018年度は48・5%の自治体が行動指針を策定。(町24%、村16%)そのうち、訓練まで行っているのは18%。

③常任委員長・議会運営委員長の役割

▼令和の行政サービスは、Fintech、Maas、シンギュラリティなどを活用する時代。(役所は時代遅れ) ※用語の説明は省略

④全国事例

⑤町村議会に期待すること

▼タブレット端末・ノートパソコンを活用する自治体は21%。
▼災害時は、地元を良く知る議員の協力が必要。地域防災計画を議会の議決事項にして自治体もあります。
▼多くの自治体は、基礎データに対する各施策の検証をしないまま、毎年お金をかけて同じことを繰り返しています。
▼役所窓口におけるお金のやり取りや紙文化など、当たり前前のことを疑ってみることが必要です。
▼令和の行政サービスは、Fintech、Maas、シンギュラリティなどを活用する時代。(役所は時代遅れ) ※用語の説明は省略



前方座席で研修を受講

議員個人の特別研修

湯前町議会では、議会改革で議員の資質や能力を高めるため、平成29年度から議員個人を対象にした特別研修を設けています。議会を代表して参加し、研修成果を発表することが条件です。

議員	研修内容	成果発表
味岡 恭	【研修内容】 議会改革がブレークスルー10の法則、議会が仕掛けるシティプロモーションとマーケティング [7月30日~31日] 【会場】 福岡市	未
椎葉 弘樹	【研修内容】 自治体行革、経営効率化に向けて [7月18日~19日] 【会場】 東京都	未
高橋 一雄	【研修内容】 SDGsで地域が変わる、人口減少社会における発想の転換 [6月26日~27日] 【会場】 東京都	済

上球磨消防組合議会

改選・改元後最初の臨時会

新庁舎の建設進む

- ▶ 水上村・多良木町の改選に伴い、新たに多良木町議会の猪原議員、水上村議会の米本議員を迎えて令和最初の臨時会が開催されました。
- ▶ 空席となっていた副議長には多良木町議会の宇佐議員を、庁舎建設特別委員会副委員長に米本議員をそれぞれ選任しました。
- ▶ 審議内容は、繰越の報告、庁舎建設に伴う備品購入契約の締結、条例改正など。いずれも原案どおり可決しました。



秋ごろ完成予定の新庁舎と車庫

〈上球磨消防議員 金子〉

人吉球磨広域行政組合議会

福寿荘の移譲法人優先候補者を選定

来年4月の運営開始に向けた主な対応

本組合で運営している特別養護老人ホーム福寿荘には、令和2年4月から既存施設を活用しての移譲法人による運営を開始します。移譲法人選定委員会で応募事業者を審査・選定し、その結果を受けて理事会が移譲法人優先候補者「医療法人 八紘会(理事長 園田篤子)」を選定しました。

- ▶ 来年4月の運営開始に向けて、
 - 移譲法人との調整、引き継ぎ
 - 関係条例などの調整、整備
 - 組合格約改正に伴う構成市町村同文議決
 - 法令上の諸手続き(施設廃止届など)
 - 移譲法人との協定締結

統一地方選挙後の第2回臨時会

- ▶ 広域行政組合議員は、全30議席のうち13議席が新たに入れ替わりました。
- ▶ 監査委員に、本町議会の椎葉議員を同意・選任しました。
- ▶ 一般会計補正予算における公立多良木病院の検診車胸部X線撮影システム更新負担金は、検診車貸付収入と検診車基金により、広域行政組合が702万円を負担します。
- ▶ 福寿荘特別会計の繰越明許では、耐震補強工事関連1099万5000円を本年度予算に繰り越しています。

〈広域行政議員 黒木喜・椎葉〉

公立多良木病院企業団議会

議長に味岡議員を選任

任期は来年11月の湯前町議会改選まで

令和元年第2回臨時会が開催され、議長に本町議会の味岡議員が選任されました。また、監査委員に水上村議会の米良議員を同意・選任しました。

〈公立病院議員 味岡・遠坂〉



公立多良木病院企業団議会議長に就任した味岡議員

テーマを設定し、年4回にわたり住民の皆様から意見をいただきます。

住民の 声



テーマ 湯前町での子育て



上村区
那須 貴美香 さん

○まず感想をお聞かせください

湯前で生まれ育ち、外に出て生活したことがありますので、他町村の子育て環境と比較することはできませんが、子育てには何かとお金がかかりますので、子どもの医療費や保育料などを助成していただいております。

○お困りのことはありませんか

特に困っていることはありませんが、強いて言うなら、湯愛学童クラブの夏休みのみの受け入れがなくなってしまい、少し不便に感じています。その点を対応いただけると助かります。

それと、ロタウイルスの予防接種が、補助対象になっている町村があると聞きました。可能であれば、補助対象にしていいただければと思います。

テーマ 町・議会への提案

○お仕事の内容は

湯前駅の隣にある湯〜とびあで、観光物産協会の事務局長として、町の観光案内と物産販売を行なっています。

○お困りのことはありませんか

物産販売所の商品がなかなか集まりません。家庭菜園の野菜など少量でも構いませんので、町民の皆様の出品をお待ちしています。

○ご提案はありますか

まだ個人レベルでの構想ですが、高齢化が進む本町の買い物難民対策として、移動販売ができないか検討しています。

産業面ばかりではなく、福祉や雇用の面などにも効果が期待されると思われますので、実際に動き出す際には、担当課の職員さんや議員の皆さんにも、実現に向け支援をお願いできればと考えています。



浜川区
柴田 浩二 さん

「住民の声」にご協力いただける方は、議会事務局までお電話下さい。 ☎0966-43-4111

編集後記

▶本町でも長谷新町政が始まり、住民各位におかれても令和の時代が始まりました。

▶遅い梅雨入りで水不足が懸念されましたが、無事さなぶり(早苗饗)が迎えられたことでしょう。

▶九州地域は50年前の教科書に「温帯地域」と記してありましたが、「亜熱帯地域」の様相を呈している感があります。

▶7月の大雨で、本町においても多くの農林地で災害が発生しました。「防災情報」にご注意ください。

▶今後も猛暑・酷暑が予想されます。体調管理に努められ、ご自愛ください。

(森山)

◆議会だより調査特別委員会

私たちが編集しました。 委員長 椎葉 弘樹
副委員長 金子 光喜
委員 森山 宏
委員 遠坂 道太

